

第1学年*組コミュニケーション英語I学習指導案

茨城県立下館第一高等学校
教諭 マクアリスタ 未央

1 単元名 Lesson 3 “More Than Just a Piece of Cloth” (Genius English Communication I / 大修館)

2 目標

- ペア・ワークにおいて、互いに協力し合いながら活動をしようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 風呂敷に関する説明を読んで、その概要を口頭で説明し、読んだ内容に関して質問したり、答えたりすることができる。それに対する自分の意見を話したり、書いたりすることができる。(外国語表現の能力)
- 日本の伝統文化の一つである風呂敷に関する説明を読んで、その由来や特徴を理解することができる。
(外国語理解の能力)
- 風呂敷など日本の伝統文化について理解している。また、ものや人の性質を説明する際に使用される関係代名詞や助動詞、受動態について理解している。(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、環境保護の観点から風呂敷に興味を持った英国の高校生から送られたメールに対し、日本の高校生が風呂敷について調べたことを伝えるという内容である。身近なものの歴史や背景に触れ、伝統文化を見直したり、環境保護の観点から見た日本文化の特質について考えたりすることができる題材である。言語材料は、物の特徴を説明する表現として、関係代名詞や助動詞、受動態を扱う。

(2) 生徒の実態 (在籍 男子*人, 女子*人, 計*人) (意識調査 平成27年*月*日実施)

質問事項	回答
1 日本の伝統文化に関心がありますか。	大いにある *人 ある *人 あまりない *人 全くない *人
2 日本文化について、海外の人に英語で説明をしたことがありますか。 ※「ある」と答えた人は、何について説明をしましたか。	ある *人 ない *人 ※夏祭り, 着物, 七夕, 茶道, カラオケ, 習字, 日本の昔遊び, 枯山水について
3 日本文化について、海外の人に英語で説明ができるようになりたいですか。	大いに思う *人 思う *人 あまり思わない *人 思わない *人
4 風呂敷を実際に使ったことがありますか。	ある *人 ない *人

本学級の生徒は知的好奇心が旺盛で、英語学習にも熱心に取り組んでいる。英文の概要を英語のまますべて理解するまでには至らないが、内容に関する英語の問いに対しては、日本語を介さずとも英語で受け答えをすることができる。また、英語を実際の生活の場で使おうとする意欲がある生徒も多く、半数以上の生徒が日本文化を海外の人に英語で説明できるようになりたいと思っている。*人の生徒が実際に日本文化について海外の人に英語で説明をした経験がある。

(3) 指導観

生徒が英文を読んで概要を捉え、それに関して英語でのコミュニケーションができるようになることをねらいとする。そのために、英語での言語活動を通して本文内容の理解を図るワークシートを工夫作成する。単元のまとめとして、単元全体の概要を口頭で説明し、内容理解の定着を図る。更に、日本の伝統文化について興味・関心を高めるため、今日の高校生がなかなか目にする事のない、しかし海外の人たちから高く評価されている「風呂敷」に触れる機会を設定する。これらを通して、英語で考えや思いを伝える力を育みたい。

4 指導と評価の計画 (10時間扱い)

時	学習活動	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	・ Lesson 3 の導入文を聞き、その概要を理解する。 ・ 身の回りにある「布」の種類とその使い方についてペアで話し合う。	◎				・ 身の回りにある「布」の種類とその使い方について、ペアで情報や自分の考えを伝え合おうとしている。(観察・ワークシート)
2	Part 1 の導入 ・ 英文を聞いたり、読んだりして、その概要について英語で尋ねたり、答えたりする。	○	◎			・ Part 1 の概要について英語で尋ねたり、答えたりすることができる。(観察・ワークシート)
3	Part 1 の内容理解 ・ 英文を読んで、その内容を要約する。			◎		・ Part 1 の内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
4	Part 2 の導入 ・ 英文を聞いたり、読んだりして、その概要について英語で尋ねたり、答えたりする。	○	◎			・ Part 2 の概要について英語で尋ねたり、答えたりすることができる。(観察・ワークシート)
5	Part 2 の内容理解 ・ 英文を読んで、その内容を要約する。			◎		・ Part 2 の内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
6	Part 3 の導入 ・ 英文を聞いたり、読んだりして、その概要について英語で尋ねたり、答えたりする。	○	◎			・ Part 3 の概要について英語で尋ねたり、答えたりすることができる。(観察・ワークシート)
7	Part 3 の内容理解 ・ 英文を読んで、その内容を要約する。			◎		・ Part 3 の内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
8	Part 4 の導入 ・ 英文を聞いたり、読んだりして、その概要について英語で尋ねたり、答えたりする。	○	◎			・ Part 4 の概要について英語で尋ねたり、答えたりすることができる。(観察・ワークシート)
9	Part 4 の内容理解 ・ 英文を読んで、その内容を要約する。			◎		・ Part 4 の内容を理解することができる。(観察・ワークシート)
10 本時	Communication Activities (Lesson 3 の復習) ・ 日本の伝統文化である風呂敷について関心を深め、それについて英語で自分の意見を発表する。また、書いてまとめる。	○	◎			・ 風呂敷の PR の工夫について協力してまとめようとしている。(観察・ワークシート) ・ 風呂敷について自分の考えを英語で発表したり、書いたりすることができる。(ビデオ・ワークシート)

※「言語や文化についての知識・理解」に関しては、後日定期考査にて評価をする。

5 本時の指導

(1) 目標

○ グループ・ワークにおいて、風呂敷の PR の工夫について協力してまとめようとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

◎ 風呂敷について、自分の考えを英語で発表したり、書いたりすることができる。(外国語表現の能力)

(2) 展開

時間	学習活動及び内容	指導上の留意点・評価 (○, ◎)
10分 導入	1. 挨拶 2. 会話練習 (関係代名詞 who を用いた表現) ・ 指名された生徒が前に出て、指示された行動をする。 ・ 英語でどう説明したらよいか、考える。 ・ ペアで、関係代名詞 who を使って質問したり、答えたりして、2分間会話を続ける。	・ 全体、個別に挨拶をして、雰囲気を作る。 ・ 英文の作り方をイメージしやすくなるように、動きを付けたモデルを生徒にしろらう。 ・ テンポのよい会話練習となるように、指示を明確にし、タイマーを使う。

<p>展開 I 15分</p>	<p>3. 本時の学習課題提示と学習の流れ説明</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>Let's use Furoshiki !!</p> </div> <p>4. Lesson 3 の復習</p> <p>1) 前時までの授業で各生徒がまとめた Part 毎の要約を、ペアで音読し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方の生徒が要約を読む。途中、要所で文を区切り、続く言葉を相手が推測して続ける。同じように、次の要所で文を区切り、続く言葉を相手が推測して続ける。 <p>2) ワークシートの表の空所に必要なキーワードを書き込み、Lesson 3 全体の要点をまとめる。</p> <p>3) 表を用いて、風呂敷についての英問英答をペアで行う。</p> <p>4) 全体で英問に対する正しい受け答えを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を提示し、学習の流れを説明することで、学習に見通しをもたせる。 ・読み手は、相手に内容が伝わるように音読するように伝える。 ・聞き手は、話の流れを思い出しながら、必要な言葉を即座に言うことができるよう、意識させる。 ・教科書やこれまでの要約に頼らず、自分の力で書くように伝える。 ・表に書かれたキーワードを基に、質問に対して自分の言葉で受け答えをするよう声かけをする。 ・完璧な英文で答えることよりも、内容をきちんと頭の中で振り返りながら答えることが重要だと伝える。
<p>展開 II 27分</p>	<p>5. 風呂敷を使った演習（グループワーク）</p> <p>1) これまでの学習を基に風呂敷の特徴について話し合い、実際に風呂敷を使ってものを包み、ワークシートにまとめる。</p> <p>2) グループごとに前に出て風呂敷の使い方を実演し、どんな魅力があるかを英語でPRする。</p> <p>3) 風呂敷を使った感想と、今後風呂敷を使う人が増えると思うかという問いに対する答えを、ワークシートに記入する。（個人）</p> <p>4) 数人の生徒の発表を聞き、意見を共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかにグループを作らせ、準備ができたところから1グループに1枚ずつ風呂敷を配る。 ・生徒が「伝える」ということを意識しながら活動できるように、グループごとに風呂敷の魅力をPRすることを事前に伝えておく。 ・前に出て発表をする際は、大きな声とアイコンタクト、分かりやすいジェスチャーと英語の明瞭さが大切であることを板書し、意識させる。 ・机間巡視をし、つまづいている生徒にはアドバイスをする。 ○ グループ・ワークにおいて、風呂敷のPRの工夫について協力してまとめようとしている。 (観察・ワークシート) ◎ 風呂敷について、自分の考えを英語で発表したり、書いたりすることができる。 (録画ビデオ・ワークシート)
<p>終末 3分</p>	<p>6. 振り返りと自己評価</p> <p>7. 挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時に関する連絡を行い、学習意欲を高める。